

左近山中だより

令和2年 2月26日
横浜市立左近山中学校
校長 福田 有志
No. 10

「あなたへ」

副校長 羽山 悟

植物の息吹と共に春の訪れがあちらこちらで感じられる季節になってきました。気象庁の記録上、最も早い春一番が2月4日に吹き、コロナ禍も一気に吹き飛ばしてもらいたい思いでした。昼休みのグラウンドでは、ボールで遊んでいる生徒や暖かい日差しを浴びながら談笑している生徒を例年より多く見ることができます。そんな日常の当たり前姿がたいへん微笑ましくうれしく感じます。さて、今年度もあと1か月余りとなり、3月11日には卒業証書授与式を迎えます。



学校では令和の学びのスタンダードとも呼ばれる一人1台端末で学べる環境へ進むために、文科省の「GIGA スクール構想」の準備がスタートしています。保護者の方々には様々な承諾書、アンケート、生徒には現在できる範囲でのパソコン、タブレットを利用した授業、教職員もリモート等で研修を実施しながら対応しています。実際の授業では、生徒それぞれの感想をパソコンで入力した後、班で共有し同じ画面で同時にまとめたり、それをクラス全体で見ながら発表し学習を深めたりすることができるようになります。また、本の紹介等をする授業などでは、アドバイスをもらいながら作業を進めプレゼン能力を高めることにも繋げようとしています。将来的には、学校や家庭での生徒各々の積み重ねた学習状況を生かして、学習進度や苦手分野を可視化できるようになります。それぞれのデータの最適化を図ることによって、教諭と共に学習支援ソフトを使用しながら学習効果をあげる手段になると思われます。学校教育も変化と共にその可能性を大幅に広げていくことが期待できます。

3年生にとっては、様々なことが一瞬に過ぎ、積み重なった3年間であったと思います。今年の卒業式歌「あなたへ」は、前半後半で、明暗、希望と現実が現れる歌詞です。左近山中で過ごした3年間もそんな繰り返しだった生徒もいることでしょう。また、3年生への応援メッセージでもあります。「信じ合えることの喜びと悲しみを知った分 優しくなれる」この歌詞に込められた高潔な心と意志を噛みしめ、卒業式の体育館いっぱい、3年生と関わった人たち全員で感じたいと思います。後輩へ引き継がれる時もまた近づいています。新しい学年が新しい伝統の継承と共に発展していくことも願っています。



3年生のみなさん、「卒業おめでとうございます。」
また、保護者の皆様におかれましては、今まで本校の教育活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございました。あらためて、感謝申し上げますとともにお祝い申し上げます。

「総合的な学習の時間」の取組を紹介します！

1年生

SDGs調べ学習で 未来を創る力の育成

1学年では、昨年12月から総合的な学習の時間において「SDGs（持続的な開発目標）」を学ぶ学習に取り組んでいます。SDGsは、持続可能な社会に向けて、国連が定めた全世界で取り組む17の目標のことで



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

生徒は目標ごとにクラス横断した班を組み、「それぞれの目標についての現状」や「今行われている取組」そして、「今、私たちにできること」というテーマで壁新聞の製作を行いました。

2月19日（金）には校内で作成した壁新聞の相互発表会を行い、自分たちの学習成果をはきはきと発表することができました。

この活動を通して、生徒たちの素敵な姿を見ることができました。

- ・自分から進んで調べてまとめる姿
- ・今までの学びを活かして創意工夫する姿
- ・班の一員として活躍する姿

普段の教科の学習だけではなく、自ら問いを立てて、仲間と工夫しながら解決する活動の大切さを感じました。今回の学習で自分や仲間が発表したことを基にして、自分にできるアクションを起こしてもらいたいです。

1学年 総合的な学習の時間担当

2年生

職業・高校調べ学習

本年度は、例年行っている職場体験が実施できない中で、将来に向けて自ら考えていくことを目的に職業調べや高校調べを行いました。

職業調べでは自分が調べたい職業を、高校調べでは割り当てられた高校を調べてまとめました。Ipadやパソコン、書籍などを用いて自分が知りたい情報を収集し、レポートにまとめ、みんなで情報を共有しました。さらに、仲間のレポートを読んで学習のまとめをし、分かりやすく書かれているレポートに投票をすることによって、どのようにまとめると読みやすくなるのかという技能を他の生徒から学ぶこともできました。

職業調べのときは、なかなかうまく調べたりまとめたりすることができず苦戦している生徒もいました。その後の高校調べでは、職業調べで培った「調べてまとめる技能」を活用して、様々な情報から必要なものを選び出して、第三者へ効果的に伝えることができました。

今後も、新型コロナウイルス感染症により、例年通りの活動が難しい場合もあると思いますが、今からできることから、一つ一つ丁寧に積み重ねていきたいと考えています。また、次年度、職場体験等を実施する際は、地域の方々のご協力をよろしくお願いたします。



2学年 総合的な学習の時間担当

人権標語発表会

2月22日(月)の道徳の時間は、11月～12月の人権学習・人権標語作りで、人権＝人として生きる権利について考え、作成した人権標語とその標語に込めた思いを代表生徒が発表しました。発表後、担任の先生から令和元年度人権作文コンテスト優秀作品の読みきかせを行いました。12月の人権標語作りから少し日にちが経ってしまいましたが、あらためて標語に込められた思いや人権作文を聴き、心に残った人権標語や人権作文の感想を書くことで、人権に対する意識を高めることができましたと思います。

人権標語校内代表

- 1 見えないフリをしないで
- 2 文字に気持ちをこめて
- 3 幸せに生きて当然
- 4 あなたの一言は世界を救う力をもっている
- 5 同じじゃないのが当たり前
- 6 一度心を傷つけたらその傷は治らない
- 7 みんなの居場所はここにある
- 8 笑顔が一番の治療薬
- 9 「違い＝個性」であり、違うことは悪いことではない
- 10 相手のいい所を見つければやわらかい心になれるかも
- 11 一人ひとりの努力とみんなの協力でよりよい明日になる
- 12 一人ひとりが特別な存在
- 13 一人ひとりの小さな努力が世界を変える大きな一歩
- 14 誰もが笑顔で満開な学校生活にしたい
- 15 あなたの常識は非常識かもしれない
- 16 幸せは人を大切に作る人間によってくる
- 17 かまわないからその姿で生きるべきなんだよ
- 18 笑顔の糸 つながれ！！
- 19 相手の気持ちはあなたと違う



◎人権作文読み聞かせへの感想を一部紹介します。誰もが過ごしやすい社会を目指して、今回感じたことを大切にしていきたいです。

- ・違いを認め合うことは今の時代にとっても必要なことだと思う。
- ・初めてハンセン病という病気を知った。差別や偏見は良くないから自分の言葉に責任をもつように心がけたい。
- ・世の中にはいろいろな人がいることを頭に入れて生活したい。
- ・健康そうに見えてもそうではない人もいるから、点字ブロックの上を歩かない、優先席に座らないなどを気をつけたい。
- ・差別や偏見をなくすために、疑問点は調べて正しい知識を身につけていきたい。

人権学習担当

GIGAスクール構想

一人一台の PC 端末を用いた授業に向けた準備が進んでいます。最近では無線 LAN の設置工事が行われ、端末も搬入されました。今後、教職員の利用に向けた研修を進めるとともに、端末利用におけるルール作り等を進めてまいります。保護者の皆様においては、4月に GIGA スクール構想に伴う個人情報利用における同意書を配布いたします。また GIGA スクール構想において主に活用することになる Gsuite において使用するアカウントについても配布予定です。



ICT 担当

生徒会役員への取り組み

生徒会役員新旧交代から約3か月、自分達の役割を果たすべく、他の活動との両立を図りながら、日々頑張っています。まず、新たな取り組みとして、評議会での内容を、視聴覚委員会の協力のもと、昼の放送で伝えてもらうことを始めました。評議会は、各クラスや委員会の代表が、学校をよくするために様々な視点から話し合いをする場です。その中で出た内容を、全校生徒にもしっかりと伝えたい、との思いから、この取り組みが始まりました。「まず発信することから始めよう」です。

発信その1 《エコキャップ活動》

ペットボトルのキャップを集めて、再資源化をすることでゴミとして焼却処分するより、CO₂の削減にもつながり、さらに資源としての売却益で発展途上国の子供たちのためのワクチンを買うことにもつながるとい活動です。約860個のキャップで、一人分のワクチンを購入することができます。数だけ聞くと、途方もないように感じますが、実際に、各御家庭でも意外と買う場面は、多いのではないのでしょうか？少しの気持ちから始まる活動です。是非とも、ご協力をお願いします。



発信その2 《医療従事者の方への応援メッセージ》

今年度は、コロナとの闘いの中の学校生活でした。各御家庭でのご協力もあり、本校は学校生活を落ち着いたかたちで過ごすことができています。しかし、まだまだ安心できる状況ではありません。そんな中、一番最前線でがんばっていらっしゃる、医療従事者の方に、今自分たちができることは何かと考え、応援メッセージを送ることになりました。全校生徒一人ひとりが感謝や応援の気持ちをメッセージに込めました。このメッセージは旭区のいくつかの病院にお届けする予定です。



生徒会担当